

## 「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
公民	時事社会	3年	2	

到達目標 ※	現代の社会において問題となっている社会的事象について、政治・経済・文化・歴史など多面的に分析し考察できる能力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	新聞やインターネットなどさまざまなメディアを通して得られる情報をもとに、より多角的に、より深く各事象を考察する。 また、政治・経済の基礎知識をしっかりと確立させる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	民主政治の基本原則 日本国憲法と	民主主義の基本原則と歩み 各国の政治体制 基本的人権	定期考査・提出課題・発表・出席等で総合的に評価する。	提出物がきちんとしていているか。 発表への取り組み。 授業に臨む態度。
5月	民主主義	日本国憲法の平和主義 国会・内閣のしくみ・地方自治		
6月	現代政治の現状と課題	戦後政治と政党 選挙制度のしくみ 国際社会の特質		
7月	国際政治と日本	戦後国際政治の展開 日本の国際的地位と役割		
8月	経済社会の変容	資本主義経済の発展と変容 社会主義経済とその変容		
9月	現代経済のしくみ	家計・企業の働きと 政府の役割 市場経済のしくみ		
10月				
11月	国民経済と国際経済	金融・財政 経済成長と景気変動 貿易と国際収支		
12月	現代日本の諸課題	国際経済における日本 消費者問題と消費者保護		
1月	国際社会の諸課題	資源・エネルギー問題 環境問題・核兵器と軍縮		
2月				
3月				

※学習指導要領に示された教科の目標をふまえて設定すること。

別紙様式3-①の(1)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。